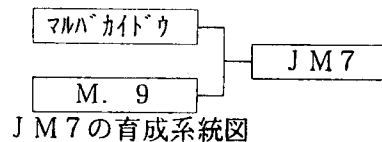


1. 来歴

農林水産省果樹試験場盛岡支場(現リンゴ支場)が、1972年にマルバカイドウ‘セイジ’にイギリスから導入された、わい性台木であるM. 9の花粉により交配した品種である。リンゴの台木でわい化効果と根の皮部率とは密接な関係があることから、得られた実生の中で根の皮部率60%以上、挿木発根率50%以上を目安として、1984年に10系統が選抜された。この中から、今回系統番号盛岡7号がわい化効果、挿し木繁殖性の高い台木として「JM7」の名称により、1996年品種登録された。本場においても1986年より系統適応性検定試験の中で検討を続け、わい化性、果実品質(ふじ)が良好であることから、りんごわい性台木として有望と認められた。



2. 特性概要

- (1) わい化効果はM. 9相当であり、M. 26よりややわい化効果が強い(ふじ)(図1、2)。
- (2) 挿木繁殖が容易であることから補助根を用いず良質の苗木生産が可能である(表1)。
- (3) 耐病虫性(リンゴワタムシ、根部疫病)に優れる(表2)。
- (4) 根の耐水性はマルバカイドウと同程度に強く、土壌適応性も高い。
- (5) 主要品種である「ふじ」との接ぎ木親和性は高く、台勝ちを有する。
- (6) 生産効率はM. 26台木に比較し高く、特に‘ふじ’‘さんさ’で多収性が認められる(図3)。
- (7) 果実品質(ふじ)はM. 26台木と比較し、果実肥大に大きな差は認められないが、硬度、糖度は優る傾向がみられ、熟期も早まる特性が認められる(図4)。

3. 奨励品種に採用したい理由

本県のリンゴわい化栽培は、M. 26台木を用いた栽培が主流である。植栽当初は、省力化、早期多収、高品質生産など目的は達成されたが定植10年以降樹齢が進むにつれて、親和性の良い‘ふじ’などは樹勢が強く、高樹高で、樹冠が拡大し、枝の交差が著しいなど、当初の植栽間隔では収まらない園地が見られている。このため省力化は不十分となり果実品質、収量等への影響も見られる。

この対策としては昭和61年の参考事項で「わい化リンゴの縮間伐による品質向上効果」で対応してきたが、よりわい化効果の優れたわい性台木を検索中であった。

「JM7」はM. 26よりわい化効果が高く、果実品質、収量性に優れ、また、挿し木発根性が高いため苗木繁殖が容易であるなど優れた台木である。

以上のことから樹が従来わい性樹よりコンパクトで省力化、高品質早期成園化等を目指した低樹高栽培に利用できる台木として期待される。

4. 重点推進地域

県下全域

5. 栽培上の留意点

- (1) JM7台は高接ぎ病(ACLSV)には感受性があり、樹勢衰弱や枯死が考えられるので用いる穂品種は無毒化したものを用いる。なお、台木繁殖についてもウィルス病感染防止のため挿し木繁殖を基本とする。
- (2) JM7台木を利用した苗木は自根苗の定植を基本とする。
- (3) 台木長は当面30~35cm(地下部10~15cm、地上部20cm)を標準とする。
なお、穂品種や土壌条件によっては樹勢の強弱も予想されるので県内の現地試験も含めて今後対応する。
- (4) 栽植距離はM. 26台利用と同様に、列間4~5m、樹間2~3m(10a当たり67~125本植え)を標準とするが地域の条件(土壌、穂品種等)によっても異なる事が考えられる。今後、機械化による省力化及び高品質生産が重要になることから広めの距離の定植とする。
- (5) 定植に当たってはM. 26と同様に倒伏防止のため支柱が必要である。

6. 試験成績の概要

表1 露地挿しによる繁殖性 (果樹試盛岡、1995)

	J M 7	マルバカドウ
活着率 (%) ^x	95	86
樹高 (cm)	96	60
幹径 (mm) ^y	6.7	4.8

^x 樹高35cm以上

^y 基部より20cm上での測定

表2 病虫害抵抗性 (果樹試盛岡)

台木名	高接病		リンゴワタムシ	根部疫病	
	ACLSV	ASPV		<i>P. cactorum</i>	<i>P. cambivora</i>
J M 7	S	R	R	R	M
M. 9	R	R	S	M	S
M. 26	R	R	S	S	S

(うどんこ病、赤星病、紋羽病には罹病性)

R: 抵抗性, M: 中, S: 感受性

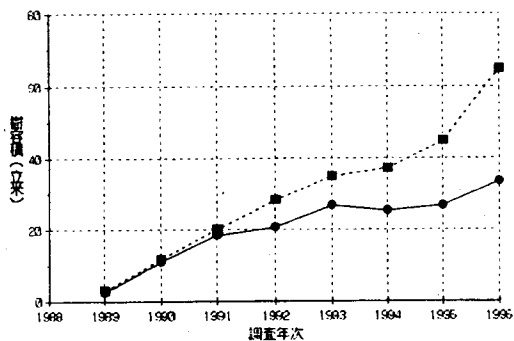


図1 JM7及びM.26台使用「ふじ」の樹容積の推移

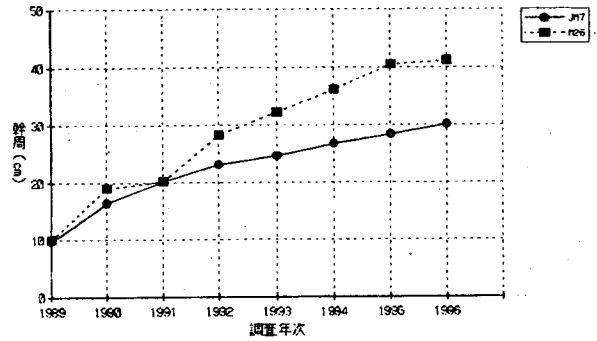


図2 JM7及びM.26台使用「ふじ」の幹周の推移

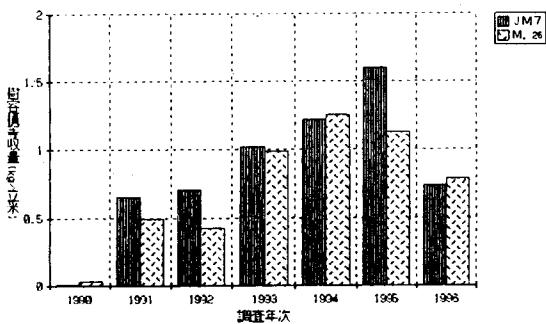


図3 JM7及びM.26台使用「ふじ」の樹容積当累積収量の推移

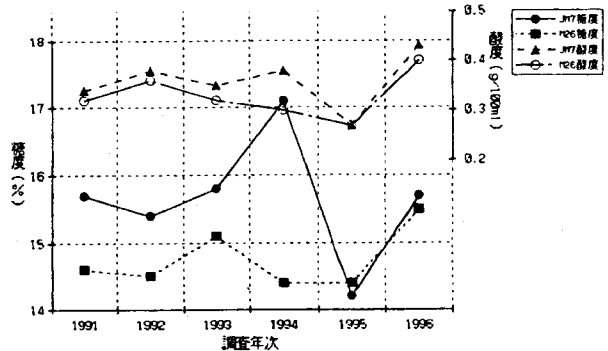


図4 JM7及びM.26台使用「ふじ」の糖度、酸度